

2018 年度 F D 実施報告書

研究科	教育学研究科
<p>F D 取り組みへの理念・目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人修士課程 1 年制(修士課程 (社会人 1 年制) に改称)の大学院生募集活動を実施する。 2. 入学定員充足率の向上に取り組む。 3. 大学院新カリキュラムの編成について検討を進める。 4. 教育効果の向上を推進する。 5. 研究成果を大学院教育へ還元する。 	
回数、期間、 実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
通年	<p>1. 修士課程 (社会人 1 年制) の大学院生募集活動について 学生募集を開始した。大学院案内・学生募集要項を更新し、新たにパンフレットを作成した。福岡市教育委員会ならびに福岡県教育委員会を訪問し情宣活動を行うとともに、福岡県教育委員会各教育事務所に大学院案内・パンフレット・学生募集要項を送付した。また、県内多数の小学校校長にパンフレットを配布した。</p>
通年 2 月 16 日	<p>2. 入学定員充足率の向上について 教員間の情報交換を密に図りながら情宣活動に努めた。 入学試験を実施し、2 名の入学予定者を得た。</p>
11 月 29 日	<p>3. 大学院新カリキュラム編成の検討について 2019 年度以降入学生を対象として修士課程 (社会人 1 年制) にも対応するよう特別研究等、必修科目の設定を変更するとともに、開講科目の再編と教員の専門性および教育</p>
12 月 20 日	<p>研究業績とのマッチングを視野に入れて教員間の担当科目の一部再編、授業担当教員の補充を行い、閉講科目を無くした。また、研究指導体制強化のため、研究指導補助教員</p>
1 月 24 日	<p>を来年度 2 名増員することとした。</p>
2 月 28 日	<p>4. 教育効果の向上について FD 推進のため、研究科 FD 研修会を以下の通り実施した。 日 時：平成 31 年 2 月 28 日(木)14:30～16:00 講 師：中島英博 氏 (名古屋大学高等教育研究センター 准教授) テーマ：社会人が大学院で学ぶことの重要性</p>
	<p>5. 研究成果を大学院教育へ還元することについて 科研費採択率の向上を目指し、研究指導 (補助) 教員の科研費採択率は 50%に達した。</p>

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	院生の履修実態の把握を行っている。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	授業アンケートを実施した。
教育方法の改善	アクティブラーニング (特に PBL) の推進 PBL : 課題解決型授業	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	大学院での学修は基本的にアクティブ・ラーニングといえる。
グローバル教育の推進	グローバル教育の導入	<input checked="" type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	